

5960

編 號	A741	保 期	3	冊	永
關 係	A758	機 期	發行地	完結地	永
保	H140	機 種		考	

綴書類

昭和七年十二月十二日起案

起案者 捺印(本)

昭和七年十二月十二日發行

發行後起案者捺印

主務局 部  
取扱者捺印



( ) 軍需局長

第三課長

山本

副官

大臣 閣次官

書記官



山本

經理局長

第二課長 池田

馬

軍務局長

第一課長 井上高員

馬

馬

軍令	艦政	航空	法務	建築	經理	醫務	軍需	教育	人事	軍務	官房	局部
					7.12.14					22	22	受月日
					7.12.14							7.12.27

上海陸戰隊第一〇號ノ四一被服物品交換  
期限ニ関スル件認許ス

昭和七年十二月二十日

大臣

官房第四〇七號

本件通達先 右長官

昭和七年十二月二十六日發布

(終)

理由

海軍特別陸戦隊負傷先般本省設置支那事変軍事  
 調査委員會に於て大略別表如き被服物品ヲ貸與  
 スルコトニ決定ヲ見タル結果之が要員施伴と同隊負傷  
 所持被服物品中定數並ニ交換期限ノ改訂ヲ要スル  
 モアリテ目下其ノ具體内容ニ付調査中ナリ  
 然レテ本上申事項其ノ内容ノ詳細ニ関シテ更ニ研究  
 ヲ要スヘキモ右改訂中ニ當テ包含サルモノナルヲ以テ  
 認許然ルベキモト認ム

軍務局

上海陸戰隊第一〇號

一四一

昭和七年十二月三日

海軍大臣殿

上海海軍特別陸戰隊司令官



被服物品交換期限ニ関スル件上申

當隊勤務下士官兵ニ對スル左記被服物品ハ着用期間並ニ貸與品貸與ノ關係上交換期限ノ延長又ハ停止ヲ至當ト認メ候條交換期限改正方御認許相成度

記

一半靴ノ交換期限六ヶ月ヲ一ヶ年ニ改ム

理由

現行ノ交換期限六ヶ月ハ昭和三年舊官房第四二五號ノ三規定スル處ナルモ今次上海事變以來當時

官房第四二五號

海軍



貸與品タル編上靴着用セラレ半靴着用ハ上陸  
外出ノ際ノミニシテ毀損ノ度モ僅少ニ付

一脚絆ノ交換停止

理由

今次上海事變以來編上靴巻脚絆ヲ常時着用スル

事トナリ脚絆ハ使用セザルニ付

一事業服上衣袴ノ交換停止

理由

當隊員ハ冬季軍衣袴夏季貸與品ノ褐青色夏

衣袴ヲ着用シ事業服ヲ着用スルコトナキニ付

(終)

支那事變  
軍制調査  
後身の本  
於て決定  
セルモノニシテ  
追テ察ス  
即定ス

(第一表)

官職區別章	ゴム底足袋	巻脚絆	編上靴	陸戦隊用兵軍帽	陸戦隊用軍衣袴	准士官以上劔帶	品名
二個	一組	二組	二組	二個	二組	一個	毎一人貸與數
下士官兵ニ貸與ス	准士官以上及下士官兵ニ貸與ス	下士官兵ニ貸與ス	下士官兵ニ貸與ス	兵ニ貸與ス	下士官兵ニ貸與ス	准士官以上ニ貸與ス	貸與區分
現製式軍衣用ニ同シ、但シ陸戦隊用軍衣袴着用ノトキニ限ル	表黒色布製、底厚ゴム靴式トス	地質製式ニ就テハ研究中但シ陸戦隊用軍衣袴ヲ着用シ編上靴ヲ使用スルトキニ限ル	黒色革製編上式トス但シ陸戦隊用軍衣袴着用ノトキニ限ル	地質製式共現行下士官軍帽ニ同シ、前章ハ現行軍樂兵軍帽前章トス但シ陸戦隊用軍衣袴着用ノトキニ限ル	臂章ハ官職區別章ノミヲ附ス	品質及製式ニ就テハ目下砲術學校ニ於テ研究中	品質製式並使用區分

(第二二表)

官職區別章	カラ	褐青色卷脚絆	褐青色帽日覆	防暑帽	下士官兵 褐青色夏衣袴	准士官以上 褐青色夏衣袴	品名
二個	二個	二組	二個	一個	二組	二組	毎一人 貸與數
下士官兵ニ 貸與ス	准士官以上 及下士官兵 ニ貸與ス			下士官兵ニ 貸與ス	准士官以上ニ 貸與ス		貸與區分
臺地ニ褐青色絨ヲ用フル外現製式軍衣用ニ同シ但シ褐青色被服ヲ着用スルトキニ限ル	品質及製式ニ就テハ研究中但シ褐青色被服ヲ着用スルトキニ限ル	褐青色ノ外卷脚絆ニ同シ但シ褐青色被服ヲ着用シ編上靴ヲ着用スルトキニ限ル	地質褐青色羽二重金巾、現製式ニ同シ但シ褐青色被服ヲ着用シ軍帽ヲ着用スルトキニ限ル	「ヘルメット」型、外面防水褐青色布、鍔内面青色布、頤紐茶色革、帽ノ内部ニ大小調節部及通氣孔ヲ附ス、帽体ノ材質ニ就テハ研究中、鍔ニ櫻花ヲ配シタル銀色金屬製ノ前章ヲ附ス	地質褐青色麻綿交織、製式准士官以上ニ同シ但シ肩章ヲ附スヘキ布ヲ附セス	地質褐青色麻綿交織、製式准士官以上ニ同シ但シ肩章ヲ附スヘキ布ヲ附セス	品質製式並使用區分

(第三表)

品名	毎一人 貸與數	貸與區分	品質製式 並 使用區分
防寒帽	一個	准士官以上 及下士官兵 ニ貸與ス	表及裏側頭部ハ絨、垂部及庇裏ハ毛「ラツコ」 口覆ヲ附ス 前章ハ防暑帽前章ニ同シ
防寒外套	一個	准士官以上 及下士官兵 ニ貸與ス	表絨、裏「アストラカン」襟裏及袖折返部毛「 ラツコ」、左右胸部ニ斜隠袋各一個、腰部左 ニ劔帶吊一個ヲ附シ兩前端ニ鈕釦掛穴各一 個宛ヲ附ス、但シ准士官以上用ニハ袖先ニ 識別線黃色蛇腹一條ヲ纏フ
毛織襟卷	一個		紺毛糸編ミ、兩端ニ毛總ヲ附ス
毛織手袋	一組		濃鼠色毛糸製、裏搔毛
毛織襦袢	一個		黒毛糸製 長袖
フラインネル袴下	一個	下士官兵ニ 貸與ス	「フラインネル」製 普通ノ製式
毛織靴下	一組		白毛糸莫大小製踵附

備考 以上各表ノ被服物品ハ特別陸戰隊員四、〇〇〇人分 豫備  
一、〇〇〇〇人分計五、〇〇〇〇人分ヲ準備スルモノトス

0972

お知  
代官  
決定  
ノ止  
フ要

陸軍隊員  
給子  
被服揚  
中  
特殊取扱  
事項  
調

海  
軍



海軍

官房第三八〇九號 (朱書ハ昭和六年官房第四三一號追加ノ分)

支那沿岸ニ在ル第一、第二遣外艦隊所屬艦船ノ乗員及乗組タル下士官兵ニハ昭和三年十一月十六日以降當分ノ間所持ノ被服物品中左記被服物品ハ所定交換期限ノ五分二(軍衣袴ニ限り各兵種共一箇年)ヲ經過シ毀損甚ダシキモノニ限り海軍給與令施行細則第百九條ノ手續ニ依リ交換若ハ交付スルコトヲ得

昭和三年十一月六日

海軍大臣

品名	本令適用ノ範圍
軍衣袴	遣外艦隊司令部附タル陸戰隊員ニ限ル
事業服	全部(遣外艦隊司令部附タル陸戰隊員ヲ除ク)
夏襦袢	全部
帽日覆	全部
外套(古品)	同右

○昭和二年四月二十一日官房第八五番電報 認許

第一遣外艦隊司令部附タル陸戦隊員ニ脚絆一個宛貸與ノ件

○昭和二年五月三十日官房第一六一番電報 認許

(イ) 第二遣外艦隊司令部附タル陸戦隊員ニ脚絆一個貸與ノ件

(ロ) 第二遣外艦隊司令部附タル陸戦隊烹炊員ニシテ烹炊作業ニ從事中

半長靴貸與ノ件

○昭和三年三月二十九日官房第四二五號ノ三 認許

第一遣外艦隊司令部附タル陸戦隊員ニ限り半靴ノ交換期限ヲ本箇月ニ短縮ノ件

○昭和六年四月十一日官房第一一九〇號ノ二 認許

第一遣外艦隊司令部附タル陸戦隊員ニ茶褐色被服着貸與中臂章(官職區別章)貸與ノ件

官房第一五三五號ノ二 (朱書ハ昭七年官房二)六七號追加)  
 當分ノ間支那方面ニ於ケル陸戰隊ノ隊裝ニハ第二種軍裝着用ノ期間  
 左記ニ依リ茶褐色ノ服裝ヲ用フルコトヲ得

昭和二年六月六日

海軍大臣

記

一、茶褐色被服ノ制式ハ左ノ通トス

夏衣、夏袴 第二種軍裝ニ同ジ但シ准士官以上ノ夏衣ニハ左右

胸部ニ表隠シヲ附ス

防着帽

「ヘルメツト型」ニシテ繡ニ浪花ヲ配シタル前章ヲ附ス

帽日覆、脚絆 現用ノモノニ用ジ

二、下士官兵ノ夏衣ニハ官職區別章(軍衣ニ用フルモノ)ノミヲ附ス

ルモノトス

三、茶褐色被服ハ之ヲ貸與品トシ各二組(個)ツツヲ交付ス但シ防着

帽ハ一個ツツトス

(終)

官房第六二三號

(朱書ハ昭七年官房六二三號ノ二追加ノ分)

今回ノ事變ニ關シ滿洲(關東州ヲ除ク)、河北省、支那沿岸(關東州沿岸ヲ含マス)及揚子江流域ニ在ル陸戰隊所屬ノ下士官兵ニハ必要ニ應ジ一人一組ニ限り黒色脚絆(厚セルジ製)、瀾上靴及護謨底紺足袋ヲ貸與スルコトヲ得

昭和七年二月二十八日

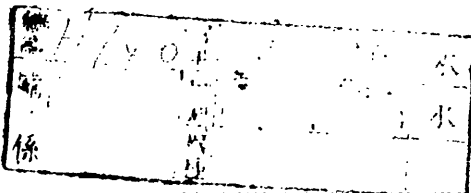
海軍大臣

官房第二八九〇號

今次事變ノ爲召集セラレタル下士官兵ニシテ支那方面ニ勤務スル者ニハ海軍給與令施行細則第九表×ニ依ルノ外夏衣袴(古品)一組ヲ臨時交付スルコトヲ得

昭和七年八月四日

海軍大臣



軍需衣第九三番

軍需衣第九三番

昭和七年六月七日

昭和三十七年六月七日

海軍省軍務局長  
海軍省軍需局長

第三艦隊參謀長殿  
滿洲海軍特設機關首席職員殿

防着帽ノ試験ニ關スル件通牒

今般官房第二〇六七號ヲ以テ新ニ特別陸戰隊ノ除裝ヲ追加交付ノコト  
ト相成候首題物品ニ關シテハ左記ニ依リ各品種（竹製、「フェルト」  
製、「フェルト」及「カボック」製）ニ付試験方御取計相成度

記

- 一 制式（寸度、形状、体裁、色合竝ニ使用材料）ノ良否
- 二 防熱及防水力ノ程度
- 三 取扱上ノ便否（耐久力共）

海軍

四 改善事項

五 其ノ他

六 試験成績通報期 昭和七年十月末日

本件寫送付先

横、吳、佐海軍軍需部  
舞鶴要港部軍需部

「終」

海軍

軍務局

軍務局

6260

第三艦隊第一一號ノ五四ノ三

昭和七年十月十九日上海出雲

第一課長

第三艦隊參謀長

海軍省軍務局長殿  
海軍省軍需局長殿

防暑帽試験ニ關スル件通報

軍需衣第九三號ヲ以テ通牒ノ首題ノ件試験成績左記  
ノ通ニ有之候

記

一制式(寸度形状色合注ニ使用材料)

現制式ノモノニテ可ナリ

(1)寸度

現製品ハ一號二號三號ニ區分シアルニ三號品ハ小ニ失ヒ一ニ號

海

軍



<p>ヲ着用スルモノ取モ多シ尙寸度ヲ六種位ニ區分セバ更ニ好都合ナリ</p>	<p>(四) 形状 現制品ニテ良好ナレドモフエルト製「カボック」製ハ縁ノ重シ過ギル嫌アリ</p>	<p>(三) 体裁 現制品良好ナリ</p>	<p>(二) 色合 現制品良好ナリ</p>	<p>(一) 使用材料 フエルト製「カボック」製竹製ノ順トス フエルト製ハ「カボック」製竹製ニ比シ重量稍重ク雨水ノ浸透ニ依リ乾燥後柔軟トナレズアルド着用具合良好ナリ</p>
---------------------------------------	--	---------------------------	---------------------------	--



海軍

「カボック」製ハ堅牢ニ出来居リ材料モ良ク「フェルト」製ニ比シ大  
 差ナキモ雨水ノ浸透依リ乾燥後硬クナリテ着用具合ハ「フェ  
 ルト」製ニ次グ、竹製ハ「フェルト」製「カボック」製ニ比シ重量モ  
 輕ク通風等ノ点ニ於テハ勝レルモ材質ノ折損ニ依リ変形シ易  
 ク周圍ノ縁布自然破損シ内部ノ竹露出シ不体裁ヲ生  
 らスユトアリ汗取ノ部頭ニ食込ミテ痛ミヲ覺ユ

二、防熱及防水カノ程度

防熱カハ三種共良好ニテ竹製ヲ第一トス  
 防水カハ「フェルト」製「カボック」製ハ完全トハ言ヒ難キモ良好ナリ、竹  
 製ハ右ニカシ

三、取扱上ノ便否(耐久カトモ)

取扱<sup>上</sup>規制品ニテ善ク支ナシ但シ竹製ハ使用材料ノ異係上取扱  
 ニ注意ヲ要ス

耐久力

フエルト製雨水ノ浸透ニ依リ材質柔軟トナリ変形スルモノアリ

「カボック」製ハ雨水ノ浸透ニ依リ材質硬ク変形スルモノアリ

竹製ハ圧縮セシム場合材料ノ破壊ト易ク形体ヲ損ジ使用不可能トナシモノアリ

四、改善事項

頭紐ノ皮ハ丈夫ナモノヲ使用シ伸縮ヲ容易ナラシメ特ニ「カボック」製ノ

モノハ取付部ヲ完全ニスルコト（「トラック」等ニテ疾走ノ場合吹キ飛ばサ

ルル虞アリ）

雨覆ノ止金ハ脱落シ易ク教練作業等ニ際シ紛失セルモノアルニ

付脚ノ金物ヲ少シク長クセバ此ノ欠点ヲ補ヒ得ベシ

帽ノ内側ニ「セルロイド」製ノ名刺差シヲ設ケル必要アリ今回添付

ノ雨覆ハ帽ニ合ハガシモノ多ク不体裁ナリキ依ツテ各種帽トモ防水

海軍

五身、地

ヲ施セル布ヲ製作セハ雨覆ヲ不履トナリ至極便利ナルベシ

以上ノ試験ニ依リ比較スルニ「フェルト」製ヲ第一位トシ「カボック」製ヲ

製ノ順序トス本品ハ夏季ニ際シ當地勤務者ノ防暑用トシテ

最モ有効ニシテ實用ニ適スルモノナルニ付被服物品貸借品ト

シテ追加設定至當ノモノナリト認ム尚揚子江流域程用トシ

テ同制式ノ白色防暑帽ヲ設ケ威厳ヲ損スル不体裁ナル規制

式表裏兼帽ニ代用スル必要アリト思考ス

(注)

軍務局

軍務局

0984

滿洲海特第二二號ノ八五

昭和七年十月十九日

在奉天

第一課長



滿洲海軍特設機關首席職

海軍省軍務局長 殿

海軍省軍需局長 殿

防暑帽ノ試験ニ關スル件通報

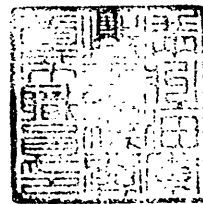
軍需衣第九三號ヲ以テ御通牒ノ首題ノ件別紙ノ通

(別紙添)

寫送付先

横、吳、佐海軍軍需部

舞鶴要港部軍需部



(終)

海軍



一、制式	
(イ) 形状	体裁裁
(ロ) 色	合
(ハ) 寸	度
(ニ) 「フエルト」製	良
二、防熱防水	變形シ易ク且軟弱トナリ使用上不便 良、但シ「フエルト」製ハ熱度上昇シ易ク不良
三、取扱上ノ便否(耐久力共)	便、耐久力ハ使用短期間ニ付不明
四、改善事項	「カボツク」製ノモノヲ厚ク編ミ一層丈夫ニナセハ變形ハ勿論防熱ニ充分耐工得ルモノト認ム

(終)

海軍

140	六
係	係

軍務局

第謀長 局員

矢野

夕十五 至急

七、六、二二 一〇三〇 無線 平戸 辭 (二六六〇)

平戸 艦長

左記特殊防寒被服貸與方上申ス  
 准士官以上防寒帽、特製准士官以上外套各五  
 防寒帽特別毛織襦袢特製防寒外套毛織  
 袴下防寒袴、防寒厚手袋、防寒長靴、防  
 寒薄手袋各二〇、特製毛織靴下四〇

軍需部 貸與 計上 申

軍需局

別